

平湯川砂防樹林帯第3号帯工他1件工事における安全対策について

工事名 平湯川砂防樹林帯第3号帯工他1件工事

会社名 水新建設株式会社

工期 自:平成21年8月12日

至:平成22年3月20日

現場代理人 上野 和彦

監理技術者 村上 正



1)はじめに

本工事は、神通川水系平湯川流域において、流域の樹木を砂防林として利用するとともに、現場内で発生する自然石を採取し、護岸工等の表面に利用して河川の氾濫時に、河岸の侵食、土砂流出を防ぐことを目的とした工事です。

施工箇所位置図



2) 工事概要

砂防土工	: 掘削	2,800m ³	埋戻し	1,340m ³
第3号帯工	: 新粗石コンクリート	54m ³		
	: コンクリート	32m ³		
導流堤工	: コンクリート	278m ³	巨石張	604m ²
第4号帯工	: 新粗石コンクリート	305m ³		
	: コンクリート	178m ³	巨石据付	57m ²
			巨石張	27m ²
			巨石積	7m ²
護床工	: コンクリート	175m ³	巨石張	70m ²
護岸工	: コンクリート	340m ³	巨石据付	110m ²
			巨石張	387m ²
			巨石積	106m ²

3) 安全対策について

現場での交通安全対策

本工事施工箇所は、下図を見て頂くとお分かりになるよう、現場への出入り口は国道471号線の、の2箇所です。資材運搬道路としてはが最適なのですが、なにぶん道幅が狭くまた、国道に出るとき見通しが悪く、交通災害を引き起こす危険性が大変大きいのです。(右ページ参照) ゆえに、生コン車、残土搬出等大型車(4t車以上)は勿論のことですが、通勤車両ものみを利用するルールを決めました。



付近拡大図



写真(1)



写真(2)



写真(3)



また、今年は降雪が多くスリップ事故が発生しやすい状況となっております。除雪はもちろんの事、凍結注意を促す看板の設置、凍結防止剤(塩化カルシウム)の散布を行い、事故を未然に防ぐよう頑張っています。



凍結防止剤



凍結防止剤散布状況



凍結防止剤散布状況



凍結注意看板設置

現場内施設での安全対策(伐採材・間伐材の有効利用)

本工事現場は樹林帯であり樹木の伐採が必要となりましたが、伐採は最小限にとどめるよう努力しました。そして伐採した樹木を現場内で立入禁止柵等に使用するなど有効利用しました。



4)おわりに

本工事は、現在も工事を行っております。今年は降雪が多く、各管理がとても大変です。しかし残り工期も2ヵ月半ほどなので、現場職員・作業員が一致団結し、工事完了まで、無事故・無災害で頑張っていきたいと思っています。